

第3章 第4期計画の基本理念と全体目標

1 基本理念

奈良県がん対策推進条例の趣旨を踏まえ、「がんにならない、がんになっても安心できる奈良県」を基本理念に定めます。

2 全体目標

基本理念の実現に向けて、以下の3つの目標を全体目標に掲げ、がん予防をはじめとする8つの分野で今後6年間（令和11（2029）年度まで）の取組を進めます。全体目標は進捗状況を評価するため、すべての項目に指標を設定しています。

1) 県民ががんにならない、がんで亡くならない（がんで亡くならない県、日本一）

指標	現状値（基準値）	目標値
がん75歳未満年齢調整死亡率	62.4	52.8

がんを予防する方法を普及啓発するとともに関係者との連携による取組を推進し、がん罹患率を減少させます。また、県民ががん検診を受けやすい体制を整備し、がんを早期発見するとともに、質の高い医療を提供することでがん死亡率を減少させます。

県のがん75歳未満年齢調整死亡率は、年々減少していますが、令和3（2021）年では全国7位に留まっています。第4期計画でも引き続き「がんで亡くならない県、日本一」を目指します。

2) すべてのがん患者とその家族の苦痛が軽減され、安心、納得のいく医療を受け、療養生活を送ることができる

指標	現状値（基準値）	目標値
これまで受けた治療に納得している患者の割合	88.0	増加

がん患者の多くは、身体的な苦痛だけでなく、がんと診断された時から不安やうつ等の精神心理的苦痛や社会的苦痛を抱えています。また、その家族もがん患者と同様に様々な苦痛を抱えています。

がんゲノム医療をはじめとした高度ながん医療の提供を推進するとともに、がんと診断された時からの質の高い緩和ケアの提供やがんに関する相談支援や情報提供により、すべてのがん患者および家族等の苦痛を軽減し、療養生活の質の向上を目指します。

3) すべての県民ががんを正しく知り、がんと向き合い、地域共生社会の中で自分らしく生きられる

指標	現状値（基準値）	目標値
現在自分らしい日常生活を送れていると感じる患者の割合	70.5 (参考値 ^{※7})	増加

県民ががんを正しく理解し、向き合い、医療・福祉・介護・産業保健・就労・教育支援分野等と連携し、社会的な問題を解決することで、住み慣れた地域社会の中で自分らしく療養生活を送ることを目指します。

^{※7} 患者体験調査（厚生労働省）による。現状値は次回（R7（2025）年予定）の「ならのがんに関する患者意識調査」で把握予定。